

5. 平成27年度の環境目標の実績、評価と次年度の取組内容

項目	目標値	実績	達成度	判定
CO2排出量 (kg-CO2)	58,714	58,129	101%	○
電気使用量 (kwh)	42,254	42,934	98%	×
オートガス使用量 (ℓ)	4,903	5,182	95%	×
ガソリン使用量 (ℓ)	6,129	5,324	115%	○
軽油使用量 (ℓ)	1,408	1,418	99%	×
評価及び次年度の取組み内容	<p>今年度は、昨年度に行った工場・事務所の増設が終わってから、設備の変化なく集計を行った最初の年度となりました。このことから環境目標についても基準を見直し、設備を行った平成26年度を基準として比較を行うこととしました。軽油の集計方法についても見直しを行い、ディーゼルデュアルフューエル車の試作車両の試運転使用分については集計から除くこととしました。電気とオートガス、軽油の使用量については、達成度が95～99%内と、目標達成はなりませんでしたが大幅な増加はありませんでした。来年度以降については目標達成ができるよう取り組んでいきます。CO2排出量は目標を達成しました。ガソリン使用量については大幅な削減が達成できました。これは社員全員の意識向上とサービスカーのLPG化の結果が表れていると思います。次年度は、削減の取り組みの継続と共に旧工場の照明のLED化など、設備面の投資も行う予定にしており、さらなる環境負荷の削減を図っていきます。</p>			
廃棄物のリサイクル	分別活動推進	分別活動推進	100%	○
	廃バッテリー、廃油、廃タイヤ、の再資源化100%維持	廃バッテリー、廃油、廃タイヤ、の再資源化100%維持	100%	○
評価及び次年度の取組み内容	<p>廃タイヤ・廃バッテリーは有価での引取も含め事業の関連ルートを通じて再資源化をしています。本年度は100%の達成と評価しました。次年度も継続的に取り組んでいきます。</p>			
水使用量	300	312	96%	×
評価及び次年度の取組み内容	<p>残念ながら環境目標値を達成できませんでした。主に水を使用する作業である洗車の台数(LPG架装車両台数)については、基準年度と比較すると増加していることから、使用量は増加していると考えます。しかしながら洗車手順の確認・見直しを行い、次年度は削減を目指します。</p>			
化学物質	教育訓練の実施 適切な管理	教育訓練の実施 適切な管理	100%	○
評価及び次年度の取組み内容	<p>エンジンオイル、シンナー系共に使用量の把握と管理も含め、適切に管理できたと考えます。漏洩や地域からの苦情等も発生しませんでした。次年度も引き続き環境法規を遵守し、管理に取り組んでいきます。</p>			
グリーン購入 (中古品、再生部品)	グリーン購入 活動実施率100%	グリーン購入 活動実施率100%	100%	○
評価及び次年度の取組み内容	<p>中古部品、再生部品の使用促進に取り組んでいます。お客様にとっても価格面でのメリットがあります。次年度も積極的に使用を推進していきます。</p>			
エコ整備	121	147件	121%	○
評価及び次年度の取組み内容	<p>目標を平成26年度比で設定をし直し、目標を達成しました。エコ整備については弊社の販売サービス品の中でも、LPG自動車に次ぐ直接的に環境を意識したものと考えますので、今後も取り組みを継続していきます。</p>			

環境活動計画は実施できました。

※軽油使用量は、車両開発のための試運転に使用した分を差し引いた値としています。